

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011長第116号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年12月18日（日） 09時40分ごろ	
発生場所	長崎県西海市大島西方沖 西海市所在の御床島灯台から真方位060°5, 200m付近 (概位 北緯33°02.0′ 東経129°35.1′)	
事故等調査の経過	平成23年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 プレジャーボート ^{ことぶき} 壽丸、5.53m 船舶番号、船舶所有者等 不詳、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ先端欠損、船外機濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、船首約0.30m、船尾約0.65mの喫水で大島西方沖を釣り場に向けて南南西進中、急に時化てきたので引き返すこととし、風を避けるために島陰の大島東岸沖を航行しようとして大島南南西の中戸瀬戸に向けて南進中、平成23年12月18日09時40分ごろ岩場に乗り揚げた。</p> <p>船長は、中戸瀬戸を通るのが初めてであったが、海図により水路状況を確認していなかった。</p> <p>船長は、陸岸から釣りをしているときに本船より大きな漁船が中戸瀬戸を通って行くのを何度か見たことがあったので本船も通航できると思った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3～4</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、大島西方沖を中戸瀬戸に向けて南進中、船長が水路状況を確認していなかったことから、岩場に接近して航行し、中戸瀬戸の岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、大島西方沖を中戸瀬戸に向けて南進中、船長が水路状況を確認していなかったため、岩場に接近して航行し、中戸瀬戸の岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めての航路を航行する際は、事前に海図等で水路調査を行うこと。 	